## 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路意見交換会まとめ

市町村名	時代中尔思川建治理時息兄父揆云よこの │∃郷村		
開催日時	第1回 9月25日、10月17日 第2回 10月17日、11月5日 第3回 11月5日 第1回 9月25日、10月17日 第2回 10月17日、11月5日 第3回 11月5日		
1.道路行政全般について			
2.地域の課題、問題点 (まちづくり、 自然、生活)	・消費者は口に入れて安心な農産物を求める。安曇野のイメージが壊れると大変である。 ・三郷村の自然が大好きで住んでいる。自然豊かで住民が安心して暮らせる環境を守りたい。 ・地球規模で問題を考えるべき。これまでの便利さと効率追求の生活を反省する時期。車の 台数と糖尿病の因果関係も問題にされている。 ・速く通りすぎ、りんごを買ってくれない。地元の経済が良くなるというのはおかしい。 ・産業・商業が衰退し、農業も音を立てて崩れている。道路建設より先にやることがあるの ではないか。	・高規格をつくると、工業・商業は活性化されるが、農業は9分どおりやりにくくなる。 ・ITは小型化され、大型車でくるのは産業廃棄物だけで高規格は村の利益にならない。 ・安曇野への観光はこの景観(豊かな自然、きれいな空気)が目的で来ている。本末転倒だ。 ・三郷村の将来ビジョンとの関連で考えないといけない。 ・村の発展の方向が村民に伝わってこない。もっと、将来ビジョンが村民の中で論じられる べきで、その立場で、三郷村の将来ビジョンとの関連で考え、道路建設がどうなのか?	
3.道路の必要性 (建設の是非)	・高規格道路はIT革命で重要な、人の交流、物流の促進を保障し、村内を通る幹線道路としての役目。 ・高規格道路による広域農道の渋滞解消に期待。小倉地区の騒音、生活環境改善を期待。・農道の拡幅や歩道整備では根本的に解決にならない。 ・高規格道路は作り方次第で、単に観光道路ではなく、産業道路、生活道路になる。行政は将来を考えて、もっと熱意を持って推進し、説得して欲しい。・高規格道路により広域農道が本来の目的(農業者、農業用車両、優先)で使用されることを期待。 ・高規格道路によって10 t、20 t 車両が村中心部に入れるようになることで、村の産業活性化を期待。 ・WTO体制のもとで農業も厳しい競争原理にさらされている。その中で実所得を上げていくには、どうしても観光農業にならざるを得ない。IT革命のもと、人の流れ、物流を担う高規格道路は必要。	・自然を破壊し、便利を追及し、金銭的ゆとりのみを「ゆとり」とする考えは止めるべきだ・緑の安曇野の環境破壊、景観破壊になる。 ・自然を壊さず、都会人のいやしの場所としての存在意義が大きいこの地域をどうしていくか・自然を大切にし、安全な食物を食べるという価値観に変わり、高規格建設は反対のねじをまく。 ・山麓沿いA案は冬にまかれる塩カル量が膨大だと予想され、20~30年後に塩害影響の恐れ・塩カルの被害も考えられ、地下水汚染は回復できない。さらに、粉塵や排気ガスの大気汚染や盛土で気流が変わることによる農作物への影響も考えられる。 ・国、県が大借金財政。県道が村管理になる可能性。直接負担ではなくても建設すべきでない・小谷村へ行くまでに大きな道路、トンネルが出来、便利。交通には十分足りている。・遠くの人のために住民が蹂躙されることになると思う。 ・高規格道路の使用料が無料でも、三郷村に1ヶ所しかない出入口では、通勤者が使うか疑問 ・高規格は中部縦貫道につなげるのが本来の計画だが、中部縦貫ができなければ、大町~堀金間の工事は無駄な公共事業となる。 ・スキー客の利便性は新幹線と長野駅からのシャトルバスでの対応でよいのでは。・三郷村の道路の性格はアルブス公園へのアクセス観光道路。三郷村は通過点で商工業の発展は期待できない。また、山麓沿いに走ることと、出入口1ヶ所では産業が発展するか疑問 ・朝夕松本塩尻方面が通勤時に渋滞。2 車線化、橋の拡幅、信号削減などの方法を考えるべき。・広域農道など村の主要道路は幅が狭く、歩道も未整備。これらを整備し子供、老人が安心して使える道にすることが先決。	
4.整備手法、ルート案	・松本とつなぐなら三郷を通る必要はない。	・松川村の扇状地の伏流水への影響はないか。盛土にすれば地下水に影響はないとは言えない。水に関する調査をしてもらいたい。	
5.今後の進め方について			
6.意見交換会について	・賛成反対の意見を出しあっているが我々なりに村民を代表していない。責任がとれない。 ・村での話し合いは良いこと。議論をしても反映されないことが多く空しい。参加者が少な い。		